

アークレイのものしり読本

尿検査シリーズ

尿の種類と取り扱い



尿の種類

患者による採尿

- ・ 随時尿
- ・ 早朝第一尿（8時間尿）
- ・ 時間尿（24時間尿も含む）

医療スタッフの指示による採尿

- ・ 清浄採取法による中間尿の採取

医療スタッフによる採尿

- ・ カテーテル尿
- ・ 恥骨上穿刺吸引尿

尿検体の取り扱い

- ・ 容器は尿成分と反応しないような使い捨てできるものが望ましい。
- ・ 容器の再利用は行わない。
- ・ 搬送に用いる容器には確実に蓋ができるものを用いる。
- ・ 採取後2時間以内に検査できない場合は、適切な保存剤を用いる。
特に24時間尿の採取に当たっては保存剤を用いた上、冷蔵で保存する。

尿の種類と取り扱い(解説編)

尿の種類

採尿方法によって分類することができます。

(1)患者による採尿

患者さんに指導し、患者さんの協力によって採取する検体です。採取の指導にあたっては、

- ①よく手を洗い、清潔を保つこと
- ②採尿容器の名前に間違いがないこと

などを徹底する必要があります。

・ 随時尿

時間を特に指定せずに採取した尿検体のことです。膀胱での滞留時間が一定ではないので、濃縮の割合が異なりますが、外来でのスクリーニング検査に一般的に用いられています。

・ 早朝第一尿(8時間尿)

起床直後に採取した尿検体のことをいい、オーバーナイト尿や早朝尿とも呼ばれます。不眠症の患者さんや、夜間勤務者、ある種の小児科の患者さんでも、この8時間尿を採取して検体とする場合があります。起立性タンパク尿の存在確認に使用されます。また、夜間の血糖状態を知る上でも役立ちます。

・ 時間尿

定められた時刻に採取した尿検体のことです。生活活動等と関連した特定時刻に採尿するもので、午前10時尿、食後2時間尿、前立腺マッサージ後尿などがあります。

・ 24時間尿

厳密に24時間の尿を全て採取した尿検体のことです。カテコールアミン、17-ヒドロキシステロイド、電解質などの生理学的に日内変動がある項目において、1日の総排泄量を測定するために用いられます。

(2)医療スタッフの指示による採尿

熟練した医療スタッフが患者さんに厳守すべき事項を伝え、必要に応じて介助して採取する検体です。

・ 清浄採取方法

- (1)患者さんに石鹸でよく手を洗ってもらいます。
- (2)尿道口付近を滅菌石鹸水のスポンジでよく洗浄し、その後、水でよく洗浄します。
- (3)排尿が始まったら最初の部分は捨て、その後の部分(中間尿)を清潔な採尿容器に採取します。排尿の終わりの部分は、最初の部分同様捨てます。
- (4)患者さんが一人で採取できない場合は介助しますが、手袋の着用を忘れないようにしてください。

このような手順で採取した尿検体は細菌培養の検体として用いることができます。

(3)医療スタッフによる採尿

熟練した医療スタッフにより採取する検体です。患者さんへの負担が大きい採取方法ですので、細心の注意をはらって実施する必要があります。

・ カテーテル尿

尿道から膀胱内にカテーテルを挿入して採取した尿。女性において採尿時の汚染を最小限におさえたり、自然排尿が困難な場合に行われます。

・ 恥骨上穿刺吸引尿

恥骨上部の腹壁を穿刺して充満した膀胱より吸引して採取した尿。細菌検査などの場合に無菌的に採尿する最良の方法ですが、患者さんへの負担が大きく、新生児・乳幼児または自然排尿やカテーテル採尿が行えない場合に限り行われます。

尿検体の取り扱い

尿は放置することにより、その成分に変化をきたしやすいという特徴があります。従って、採尿後は直ちに検査をすることが基本になります。採尿後2時間以上保存する必要がある場合、目的の検査法に応じて、適切な保存方法を選択します。

参考文献) CLSI Urinalysis ; Approved Guideline(GP16-A3)(2009)

制作 アークレイ株式会社 開発一部 学術統括チーム

Solution to Your Needs

微量検体や採尿カップからの直接測定など、
多様な検体に対応

検体攪拌機能により検体の沈殿影響を回避

全自動尿分析装置

AUTION MAX

オーションマックス AX-4061 尿定性

